

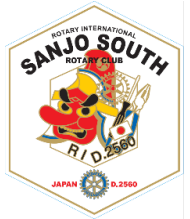


# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2025-2026  
クラブテーマ

友に学び、ともに歩み、共に成長



2025. 11. 17

第一例会

No.2542 No. 14



会長挨拶

三条南ロータリークラブ  
会 長

木村 譲

皆様、こんにちは。

私の会長も気が付けば残すところ半分になろうとしており、2560地区、クラブ内でも、来年度に向けた組織づくりや事業計画が少しずつ動き始めております。今月29日には、次年度の活動の基盤となる財団セミナーが開催され、地区補助金の申請も始まります。補助金の締切は来年の4月となっています。来年度の事業について、今から少しずつ構想を練っていただけますと幸いです。

また、クラブの重要課題である会員拡大に関しても引き続き皆様のご協力をお願いいたします。来る11月23日のクラブコンペには、ゲスト1名様のご参加が決まっております。このような機会を大切にしつつ、クリスマス例会での友人招待会も視野に入れ、候補者リストの作成にご協力いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

そして、11月27日が三条商業高校での出前授業になります。ご協力をお願いしている方は本日がこのあと打ち合わせになりますのでよろしくお願いいたします。

さて、11月は「ロータリー財団月間」です。

本日は、この月間にふさわしいゲストとして、第2560地区財団委員会より、高田ロータリークラブの高坂様にお越しいただきました。

高坂様は、私も財団委員会で一緒にさせていただいておりますが、ポリオ根絶活動への情熱と行動力から「ミスターポリオ」と呼ばれ、新潟県内でその名を知らないロータリアンはいないほどの方です。

ロータリーが世界からポリオを根絶するために長年力を注いできたことは皆様もご存知の通りですが、高坂様は毎年のように現地に赴き、その最前線で活動を続けていらっしゃいます。

先日の地区大会でも、尾身茂先生が「ポリオ根絶は世界の子もたちとの約束であり、必ず達成しなければならない」と力強く語られていたのが記憶に新しいところです。

本日は、その貴重な体験談を交えながら、ポリオ根絶活動の現状についてお話しいただきます。

それでは高坂様、本日はよろしくお願い申し上げます。

## ◆幹事報告 加藤一芳幹事

◆本日の出席：39名中28名

◆先週までの通算出席率：88.10%

◆本日のお客様：(ゲストスピーカー)国際ロータリー第2560地区ロータリー財団委員会 寄付・資金・ポリオプラス委員 高坂光一様(高田RC)

◆メイクアップ：▷11/11 三条北 RC へ田代徳太郎さん、星野健司さん、峰島由紀子さん▷11/13 三条東 RC へ長谷川直哉さん、峰嶋由紀子さん、松崎孝史さん、佐々木常行さん

## ニコニコボックス

11/17 14,000円 今年度累計 230,000円

高坂さん(高田)「本日はよろしくお願い申し上げます」

木村会長「本日は高田 RC 高坂様卓話よろしくお願い申し上げます。楽しみにしております」

加藤幹事「高田 RC 高坂光一様、本日はよろしくお願い申し上げます」

野崎さん「財団月間、高田 RC 高坂様ご指導宜しく願い致します」

関さん「昨日、下田城カントリークラブのオープンコンペに参加したところ運良く飛び賞をいただきました。エビチリ1人前でした」

坂井さん、銅冶さん、熊倉さん、石山さん、中村さん、坪井さん、渡辺(俊)さん

「BOXに協力します」

廣岡さん「風が強いです！

BOXにご協力ありがとうございました」

## 忘年家族会(友人招待会)

12月22日(月)夜例会

ウェルカムドリンク 5:45~

開会点鐘 6:30

於: ジオワールドVIP

ザ・スクエア



御家族御友人とお出掛け下さい

よいことの  
ために  
手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッシオ(イタリア)

第2560地区ガバナー 室賀 信宏(白根)

第4分区分ガバナー補佐 青柳 修次(燕)

会 長

木村 譲

幹 事

加藤 一芳

S A A

関 博市

事務局

〒955-8666 三条市町2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL 0256-35-3477

FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL https://www.sanjo-minami.jp



国際ロータリー第 2560 地区  
ロータリー財団委員会  
寄付・資金・ポリオプラス委員  
高坂 光一 様（高田 RC）

現在、ロータリー財団は 7 つの重点分野「平和の推進」「疾病との闘い」「水と衛生」「母子の健康の改善」「教育の支援」「地元経済の成長」「環境の保護」を軸に世界で活動しています。

はじめに以下3点を共通認識として持ってください。

- ① ポリオ根絶は国際ロータリーの最優先項目
- ② ポリオは根絶可能な感染症
- ③ 根絶にはまだ多くの費用と諦めない心が必要

## ① ポリオ根絶はロータリーの最優先項目である

このことは、ロータリー章典に定めています。

ロータリー章典40.040.01

RI の組織全体のプロジェクト

「ポリオプラス・プログラムが成功裏に完了するまで  
いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない」  
(2023 年 4 月理事会会合、決定 111 号)

## ② ポリオは根絶可能な感染症です

根絶可能な感染症には 3 つの条件が必要と教えてもらいました。**1.感染すれば必ず診断できる、2.病原体はヒトだけに感染する、3.効果の高いワクチンが存在する**

このことから科学的に人類が根絶可能なウイルス性疾患は、天然痘（1980年に根絶）、ポリオ、麻疹（はしか）の3つとなっています。

## ③ 根絶にはまだ多くの費用と諦めない心が必要

ロータリークラブは 1988 年に、WHO・ユニセフ・CDCと世界ポリオ根絶イニシアティブ（通称GPEI）を立ち上げて以来、37 年の長きにわたり世界から野生株型ポリオをなくすために活動を続けてきました。

その後、GPEIには 2009 年にゲイツ財団、2016 年にGAVI が参加し現在 6 団体で活動をしています。

2022 年の世界保健サミットで、世界の首脳らはGPEI ポリオ根絶戦略 2022—26 に向け 26 億米ドルの資金提供を確認しました。根絶が達成されれば、今世紀の医療費削減額は世界で 331 億米ドル（約 5 兆円）に（2022 年 WHO WEBサイトより抜粋）

もし、ここで活動をやめてしまうと今後10年で毎年20万人の新しいポリオ症例が発生してしまうと危惧されます。

とはいえ、私も以前そうでしたが、私たちの寄付は何に使われているのかわからないという点で寄付などに躊躇される方もいらっしゃると思います。

少し古いですが、2020-2021 年度のポリオプラスの使い道についての資料をもらいました。

費用の使われ方は？

例) 2020-21年度 ポリオプラス 1億5,000万米ドルの使途

・ 啓発活動費用	3,600 万米ドル	約25%
・ ワクチン接種費用	5,850 万米ドル	約40%
・ ワクチン費用	2,870 万米ドル	約20%
・ ウイルスの発見・監視費用	2,100 万米ドル	約15%

(情報:RID2510 2023-24 ロータリー財団地区補助金管理セミナー「ポリオプラスについて」より抜粋)

## ポリオワクチン投与活動

(パキスタンカラチ・イスラマバード)

続いて、こちらは高速道上にある軍のチェックゲートでの活動です。

ここでは毎日カラチに入ってくる多くのバスを軍が全て停めて爆発物や不審物のチェックをします。私たちは、軍のチェックの間にワーカーと一緒に乗り込み、該当の子供を探し投与をします。断られることも多いです。ここでの投与は 4 班 24 時間 365 日休みなく行われ、昨年は 100 万回以上投与が行われています。このようなゲートがカラチには 8 か所あるそうです。

続いて戸別訪問の様子です。この画像は 2022 年の大洪水避難民のテント村で、かなりハードな環境でした。ここではほかの男性を家に入れてはいけないというイスラム教の風習で、ワーカーは女性に変わりますが、確実に言えることは、高速道路や駅に比べてリスクが非常に高く感じられ、活動中も中止を余儀なくされる場合もありました。基本的に活動には銃を持った警察、時には軍が警護についてくれます。これを異常と感じ続けるようにしたいのですが、この環境に少し慣れてきている自分もいます。

このように通ううちに少しずつ気持ちの変化が生じてきました。最初は好奇心だけでしたが、通ううちに、私たちが行くことで、現地で頑張るワーカーを始め従事者へのエール、それに、変わらぬ笑顔いっぱいの子供達の希望になればという想いに変わってきました。最近はその「意地！」が加わってきているように感じています。

続いては初めて参加した時から感じている水環境の悪さです。これはカラチ郊外の農村の様子、そしてこちらはカラチ市内中心部にあるテント村の様子ですが、この濁った水が彼らの生活様子になっています。この水で炊事や食器洗い、身体を洗ったり洗濯も…当然おむつも洗います。もし、そのおむつにポリオウイルスが付いていたら…これではワクチン投与だけでは無理、基本的衛生環境、特にきれいな水の整備が必要です。

浄水プラントの設置はカラチ電力の協力で 5000 ドルからできます。私たちは 2024 年から有志で出し合い設置を始め、現在完成・未完成を含め 13 ヶ所になりました。これは第 2560 地区の有志で出し合い、チーム初となったカラチ郊外の浄水プラント開所式の様子ですが、なぜか私はいません…。こちらは先日、フランチエスコ RI 会長がイスラマバード初の浄水プラントの開所式に参加された様子です。お隣は 2020-21 RI 会長ホルガーさん。

カラチでの活動は、初めて参加した時から様々な壁を感じてきました。衛生環境、宗教の壁、教育問題、治安環境、大きく分けるとこの 4 つで、これは今でも変わりません。

難しく考えずに、ポリオ根絶をこのように捉えてみても良いのではと思います。

- ・ ポリオ根絶はロータリーみんなの願い
- ・ 世界の子供達との約束を果たす
- ・ 常在国で頑張る仲間へのエール
- ・ 活動・寄付への参加は、ロータリー会員の特権
- ・ 素晴らしい出会いのチャンス





## 12月のお祝い



### ◆ 会員誕生

吉沢栄一さん  
藤田寛嗣さん  
大原知弘さん  
大溪秀夫さん

### ◆ 配偶者誕生

布施純也さんご夫人  
江花正高さんご夫人  
坂井範夫さんご夫人  
渡辺俊明さんご夫人

\*おめでとうございます\*

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人としてまた事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること